

アジア・アフリカ学術基盤形成事業セミナー実施報告書

平成21年2月20日

独立行政法人日本学術振興会 殿

<コーディネーター

所属機関・氏名>明治薬科大学・森田隆司

セミナー実施報告書を次の通り作成しましたので提出します。

セ	ミ	ナ	名	JSPS 第三回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー (S-20-1)
開	催	期	間	平成21年1月14日 ~ 平成21年1月15日 (2日間)
開	催	地		明治記念館 (東京・日本)
日本側責任者	氏	名		齋藤直樹
	所属機関・職名			明治薬科大学大学院薬学研究科・教授
開催責任者 (※日本以外の場合)	氏	名 (英文)		
	所属機関・職名 (英文)			
セミナーの概要及び成果 【概要】 本セミナーは、明治薬科大学アジア・アフリカ創薬研究センター、第二回国際セミナージョイントした学術講演会として約100名の参加者のもと、日本側事業拠点校である明治薬科大学が企画し、3つの海外拠点機関〔チュラロンコーン大学薬学部 (タイ王国)、バンドン工科大学理学部 (インドネシア)、マイソール大学理学部 (インド)]の協力のもとに実施されました。本セミナーはこれまで3年間にわたり展開してきたJSPSアジア・アフリカ学術基盤形成事業の総括としての役割をもち、本事業の4つの研究課題における日本側代表者による総括的な研究成果発表と、それぞれの研究実施担当者による具体的な研究成果口頭発表に、招待講演(4演題)とポスター発表(21演題)を交えて展開されました。なお、5件のポスター優秀賞が選ばれました。 【成果】 口頭及びポスター発表により本事業で得られた成果を公表する中で、若手研究者や大学院生とともに活発な討議が展開されたことは次世代を担う人材の育成に多大な貢献を果たすものです。さらに、本セミナーは、本事業の各国コーディネーターが一堂に会し、事業期間内に得られた研究成果の公表と自己点検評価による問題点の抽出を経て、本事業終了後、本研究課題のさらなる展開における実施計画の立案と新たなメンバーの選出など強固な創薬ネットワークの形成について実質的な討議が行われた点で本事業の総括としての役割を果たせたものと確信しています。				

○参加者リスト

(様式は任意。経費負担の別により区別すること。<A:セミナー経費より負担。B:共同研究・研究者交流経費より負担。C:本事業経費からは負担しない。>)

P 3-7

○日程及び課題(セミナー関連資料があれば添付すること)

その他資料として以下に示すものがありますが、講演要旨の冊子体(1部)、携帯袋、並びに筆記用具(赤字)は宅配便にて別途提出いたしますのでよろしくお願ひ申し上げます。

1. ポスター優秀賞受賞者一覧 (p 8)
2. 講演要旨(冊子)
3. 携帯袋及び筆記用具
4. 要旨集の正誤表及び要旨追加 他 (p 9~14)
5. プログラム (p 15~)

なお、セミナーの開催に先立ち、1月13日午後5時30分より明治記念館(レストラン羽衣)において、JSPS 事業の4つの研究課題責任者と海外招聘者(19名)による打ち合わせ会議を開催しました(18:30-21:00)。

日本学術振興会(JSPS)アジア・アフリカ学術基盤形成事業
第三回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー参加者リスト

海外招聘者(事業メンバー)

	氏名	国名	所属機関	職名	専門	機関区分 (研究課題)		役割	経費支払区分*			
									A	B	C	D
1	Khanit Suwanborirux	Thailand	Chula. U.	Associate Prof.	Marine Natural Prod.	拠点	1	講演(OP5)、座長	○			
2	Taksina Chuanasa	Thailand	Chula. U.	Lecturer	Natural Prod. Chem.	拠点	1	聴講		○		
3	Kornvika Charupant	Thailand	NIH	Researcher	Natural Prod. Chem.	協力	1	講演(OP1-1)		○		
4	Nanthawarn Mekha	Thailand	NIH	Researcher	Immunology	協力	3	講演(OP3-1)	○			
5	Euis Holisotan Hakim	Indonesia	ITB	Professor	Natural Prod. Chem.	拠点	4	講演(OP4-3)、座長		○		
6	Lia Dewi Juliawaty	Indonesia	ITB	Lecturer	Natural Prod. Chem.	拠点	4	講演(OP4-1)、座長		○		
7	Nizar Happyana	Indonesia	ITB	Researcher	Phytochemistry	拠点	4	ポスター(JP18)		○		
8	Johnson Siallangan	Indonesia	ITB	Grad. Std	Phytochemistry	拠点	4	ポスター(JP17)	○			
9	Eliza Bachtiar	Indonesia	ITB	Grad. Std	Phytochemistry	拠点	4	ポスター(JP15)	○			
10	Fera Kurniadewi	Indonesia	Jakarta State U.	Lecturer	Phytochemistry	協力	4	講演(OP4-2)		○		
11	Maribel G. Nonato	Philippines	U. Santo Tomas	Professor	Natural Prod. Chem.	協力研究	4	講演(OP4-4)、座長	○			
12	B. S. Vishwanath	India	Mysore U.	Professor	Biology	拠点	2	講演(OP2-2)	○			
13	Y. K. Gupta	India	AIIMS	Professor	Medicinal Chem.	協力	1	講演(OP1-4)	○			
14	Surender Singh	India	AIIMS	Assistant Prof.	Medicinal Chem.	協力	4	ポスター(JP19)、座長	○			

海外招聘者(事業メンバー以外)

	氏名	国名	所属機関	職名	専門	機関区分 (研究課題)		役割	経費支払区分*			
									A	B	C	D
15	Anuchit Plubrukarn	Thailand	Prince Songkra U.	Assistant Prof.	Marine Natural Prod.	その他	1	講演(OP1-3)、座長			○	
16	Manatchaya Chuanchuen	Thailand	Chula. U.	Grad. Std.	Natural Prod. Chem.	拠点	1	ポスター(JP03)			○	
17	Panithi Saktrakla	Thailand	Chula. U.	Grad. Std.	Natural Prod. Chem.	拠点	1	ポスター(JP02)			○	
18	Maria C. R. Ramos	Philippines	U. Santo Tomas	Professor	Organic Chemistry	協力	1	講演(SL2)			○	
19	G. P. Concepcion	Philippines	U. the Philippines	Professor	Marine Natural Prod.	その他	1	講演(SL4)			○	

* A: JSPS セミナー経費から支給 B: JSPS 共同研究、研究者交流経費から支給 C: MPU アジア・アフリカ創薬研究センター運営費から支給 D: 支給しない

	国	招聘人数	JSPS セミナー経費	JSPS 共同研究	MPU センター運営費
1	タイ	7	2	2	3
2	インドネシア	6	2	4	0
3	インド	3	3	0	0
4	フィリピン	3	1	0	2
	合計	19	8	6	5

海外招聘者 (MPU 第2回国際セミナー)

	氏名	国名	所属機関	職名	専門	居住地		役割	支払区分*		
						国外	国内		X	Y	Z
20	Kuang Hai-Wue	China	Heilongjiang U.	President	Chinese Traditional Medicine	黒龍江		講演 (SLM1)	○		
21	Abdel Nasser B. Singab	Egypt	Ain Shams U.	Professor	Natural Prod. Chem.	カイロ		講演 (POM1)	○		
22	Feng-Yan Bai	China	Inst. Microbiol. Chinese Acad. Sciences	Researcher	Microbiology		千葉大	講演 (POM2)		○	
23	Lingling Lu	China	Shenyang Pharm. U.	Researcher	Natural Prod. Chem.		名城大	ポスター (MP6)		○	
24	王秋紅	China	黒龍江中医薬大学	副教授	生薬学	黒龍江		聴講			×
25	Lin Zhang	China	Shenyang Pharm. U.	留学生	天然薬物		明治薬大	ポスター (MP5)		○	×
26	Lin Zhang	China	Jun Zou	Xiamen U.	Chinese Trad. Medicine		聴講センター	ポスター (MP7)			
27	許 虎林	China	明治薬大・院	大学院生	天然薬物		明治薬大	聴講			×
28	Alfarius Eko Nugroho	Indonesia	星薬大・院	大学院生	生薬天然物化学		星薬大	聴講			×

* X: MPU アジア・アフリカ創薬研究センター運営費から渡航費、宿泊費支給 Y: MPU アジア・アフリカ創薬研究センター運営費から国内交通費支給 Z: 支給しない

日本人参加者 (他大学・研究機関) ○印は JSPS 事業メンバー (研究協力者)

	氏名	所属	職名	専門	参加目的	備考
○	1 三上 襄	千葉大真菌医学研究セ	教授	真菌学	招待講演	SL-3
○	2 高山 廣光	千葉大院薬	教授	天然物化学	聴講	
	3 甲斐 久博	九州保険福祉大	助教	生薬学	ポスター発表	MP-1
	4 宮本 智文	九州大学院薬	准教授	生薬学	聴講	
	5 中込まどか	乙卯研究所	研究員	創薬化学	聴講	
	6 大工原直美	乙卯研究所	研究員	創薬化学	聴講	
	7 坂井進一郎	千葉大学	名誉教授	薬化学	聴講	
	8 坂井伸子	無			聴講	

明治薬科大学参加者：○印は JSPS 事業メンバー、赤字は MPU 創薬研究センターメンバー

	氏名	所属	職名	専門	参加目的	備考
○	9 森田 隆司	生体分子学	教授	生化学	講演・成果発表	OP2-0
○	10 齋藤 直樹	薬化学	教授	天然物化学	講演・成果発表	OP1-0
○	11 杉田 隆	微生物学	准教授	真菌類	講演・成果発表	OP3-0
○	12 小山 清隆	生薬学	准教授	生薬学	講演・成果発表	OP4-0
	13 久保 陽徳		学長	薬化学	あいさつ	
	14 古源 寛	医薬分子設計学	教授	創薬化学	招待講演	SL-1
○	15 佐藤 準一	バイオインフォマティクス	教授	遺伝子情報	成果発表	
○	16 高橋 邦夫	生薬学	教授	生薬学	成果発表	
○	17 池田 玲子	微生物学	教授	微生物学	成果発表	
○	18 長岡 博人	有機合成化学	教授	有機合成	聴講	
○	19 高取 和彦	有機合成化学	講師	有機化学	聴講	
○	20 高取 薫	生薬学	助教	生薬学	ポスター発表	JP-16
○	21 山崎 泰男	生体分子学	助教	生化学	口頭発表	OP2-1
	22 天竺桂弘子	バイオインフォマティクス	助教	遺伝子情報	ポスター発表	JP-9
○	23 横屋 正志	薬化学	助手	有機合成	口頭発表	OP1-2
	24 奥山 徹	天然薬物	教授	生薬学	成果発表	
	25 石井啓太郎	機能分子化学	教授	光化学	成果発表	
	26 岡田 嘉仁	天然薬物	准教授	生薬学	座長	
	27 杉山 重夫	機能分子化学	講師	創薬化学	ポスター発表	MP-3
	28 野地 匡裕	機能分子化学	講師	触媒化学	成果発表	
	29 馬場 正樹	天然薬物	講師	天然薬物	成果発表	
	30 川崎 知己	薬品製造化学	教授	医薬品化学	座長・成果発表	
	31 樋口 和宏	薬品製造化学	講師	医薬品化学	成果発表	
○	32 松永 幸子	生体分子学	大学院生	生化学	聴講	
○	33 藤沢 大輔	生体分子学	大学院生	生化学	ポスター発表	JP-7
○	34 八巻 幸代	薬化学	大学院生	天然物化学	聴講	
	35 多田優美子	薬化学	大学院生	天然物化学	ポスター発表	JP-1

36	樋口 靖崇	薬化学	大学院生	有機合成	ポスター発表	JP-4
37	小島 滋	薬品製造化学	大学院生	有機合成	ポスター発表	JP-5
38	熊倉 祐介	薬品製造化学	大学院生	有機合成	ポスター発表	JP-6
39	尾林 信哉	バイオインフォマティクス	大学院生	遺伝子情報	ポスター発表	JP-8
40	古屋 博美	微生物学	大学院生	微生物	ポスター発表	JP-10
41	五十嵐貴則	生薬学	大学院生	生薬学	ポスター発表	JP-11
42	金子 輝	生薬学	大学院生	生薬学	ポスター発表	JP-12
43	鈴木 敦子	生薬学	大学院生	生薬学	ポスター発表	JP-13
44	蒔田 絵里	生薬学	大学院生	生薬学	ポスター発表	JP-14
45	佐々木寛明	生薬学	研究生	生薬学	ポスター発表	JP-20
46	伊東 暁	生薬学	大学院生	生薬学	ポスター発表	JP-21
47	二瀬 偉志	機能分子化学	大学院生	有機合成	ポスター発表	MP-2
48	八木橋昌代	機能分子化学	大学院生	有機合成	ポスター発表	MP-4
49	塩谷 真央	バイオインフォマティクス	大学院生	遺伝子情報	聴講	
50	大隈貴美子	バイオインフォマティクス	大学院生	遺伝子情報	聴講	
51	尾出 洋章	バイオインフォマティクス	大学院生	遺伝子情報	聴講	
52	石井 亮裕	天然薬物	大学院生	生薬学	聴講	
53	福田枝里子	天然薬物	大学院生	生薬学	聴講	
54	小池 健志	生薬学	大学院生	生薬学	聴講	
55	辻 満	生薬学	大学院生	生薬学	聴講	
56	椎名 有葵	バイオインフォマティクス	大学院生	遺伝子情報	聴講	
57	吉田 彩子	薬化学	大学院生	有機合成	聴講	
58	吉野 美穂	薬化学	大学院生	天然物化学	聴講	
59	北原 嘉泰	薬学研究教育センター	教授	有機化学	聴講	
60	住吉 義通	理事会	理事長		聴講	

	61	北林 昭敏	理事会	副理事長		聴講	
	63	大田 軍司	理事会	理事		聴講	
	64	山中 理子	理事会	理事		聴講	
	65	川津 輝夫	理事会	理事		聴講	
	66	本橋 登	理事会	理事		聴講	
	67	小林 和久	事務局	局長		聴講	
	68	須藤 功一	事務局			運営補助	
	69	市川 肇	事務局			運営補助	
	70	山崎恵理 子	事務局	学長秘書		運営補助	
	71	結城 雅子	事務局	広報		運営補助	
○	72	小林 恭子	事務局	総務		事業支援事務総括部	
○	73	宮崎 秀信	事務局	会計		事業支援事務総括部	

第三回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー(ポスター優秀賞:5件)

平成21年1月14～15日に開催した上記セミナーにおいてポスター発表された21件の研究発表の中からポスター優秀賞(5件)を選び表彰した。

選考委員(5名)

- Dr. Khanit Suwanborirux (Chulalongkorn University, Thailand)
Dr. Y. K. Gupta (All India Institute of Medicinal Sciences, India)
Dr. Euis Holisotan Hakim (Institut Teknologi Bandung, Indonesia)
Dr. Takashi Morita (Meiji Pharmaceutical University, Japan)
Dr. Naoki Saito (Meiji Pharmaceutical University, Japan)

ポスター優秀賞(5件)

1. Miss Yumiko Tada (Graduate Student, Meiji Pharmaceutical University, JPN)
JP-01: Isolation and Structure Elucidation of Renieramycin T: A Novel Renieramycin-Ecteinasidin Hybrid
研究課題 : 20-R-1
2. Mr. Panithi Saktrakukla (Graduate Student, Chulalongkorn University, Thailand)
JP-02: Preparation of 2'-N-Acyl Derivatives of Ecteinasidins
研究課題 : 20-R-1
3. Miss Hiromi Furuya (Graduate Student, Meiji Pharmaceutical University, JPN)
Interaction of Triosephosphate Isomerase on *Staphylococcus Aureus* with Mannooligosaccharides and Bioreactive Proteins
研究課題 : 20-R-3
4. Miss Atuko Suzuki (Graduate Student, Meiji Pharmaceutical University, JPN)
HIF-1a Inhibitors from Marine Fungi
研究課題 : 20-R-4
5. Mr. Johnson Siallagan (Graduate Student, Institut Teknologi Bandung, Indonesia)
OP-17: Cytotoxic Secondary Metabolites from Indonesian *Cryptocarya* (Lauraceae)
研究課題 : 20-R-4



The Bottom Line (From the Left)

Mr. Panithi Saktrakukla (JP-02)

Miss Yumiko Tada (JP-01)

Miss Hiromi Furuya (JP-10)

Miss Atsuko Suzuki (JP-13)

Mr. Johnson Siallagan (JP-17)

List of Correction in the Abstract Paper

Page	Title (or Line)	wrong	correct
	Cover	January 13-15	January 14-15
2	Org. Commit.	Tohru Okuyama	Toru Okuyama
4	OP2-2	Tatex	Latex
4	OP4-4	Philippine	Philippines
	SL-2	Philippine	Philippines
14	Title	TATEX	LATEX
29	JP-01	Renieramycine-	Renieramycin-
	JP-03	<i>sp.</i>	sp.
	JP-07	<i>Tigrinus</i>	<i>Tigrinus Tigrinus</i>
45	JP-15	Eliza	Eliza Bachtiar
48	JP-18	Lia Dewi Juliawati	Lia Dewi Juliawaty
53	SL-M-1	none	International Cooperation and Exchange of Heilongjiang University of Traditional Chinese Medicine
	SL-M-1	Hai-Xue Kunag	Kuang Hai Xue

SL-M-1

International Cooperation and Exchange of Heilongjiang University of Traditional Chinese Medicine

Kuang Hai Xue

Heilongjiang University of Chinese Traditional Medicine
24 Heping Road, Dongli District, Harbin, 150040 P.R.China
086-451-2110652

Heilongjiang University of Traditional Chinese Medicine (HUTCM) founded in 1959, is a key university in Heilongjiang province and a center of Traditional Chinese Medicine(TCM) education. HUTCM is presently comprised of 9 colleges, 7 affiliated hospitals, 1 research institute, 16 teaching hospitals and 46 hospitals for students' practice. The university has a staff of 2449 including 685 professors and associate professors, 2 national outstanding experts and 6 experts conferred the state council rewards. There are 18505 enrolled students at present including 218 postgraduates, 1482 master degree students, 795 students in the 7-year program, 8528 undergraduates, 3261 special course students, 5016 short-term program students and 256 overseas students. Our purpose is to educate qualified TCM personnel with more abilities and to construct the university into a well known school at home and has a certain influence at abroad.

In 2004, HUTCM has been rated as the excellent evaluation in undergraduate education from the ministry of education of China. In2007, HUTCM has become the first TCM educational institute in China, certified by the Ministry of Education. In 2008, HUTCM was appointed as the No3 national base for pharmaceutical clinical research by the academic committee of the State Council and the State Administration of Traditional Chinese Medicine.

Since 2001, three programs of HUTCM have been granted the reward of the National Key Basic Research Project and one program from the National High-Tech Research and Development Program. The university was awarded the State Second Scientific and Technological Prize to our six research projects.

As the global economy has been integrated, internationalization of people and knowledge has been required. HUTCM has put emphasis on overseas cooperation and exchanges and has started its activity in an early stage of internationalization of TCM in China. We have developed cooperation in education, medicine and science and technology with thirty countries and more than forty medical and research institutes in the world. HUTCM has long been carrying joint research of Chinese medicine with Japanese universities such as Meiji Pharmaceutical University, Hokkaido Pharmaceutical University and Department of Pharmacy at Toyama University and as well do with US, UK, Australia and Russia. Our research programs are as follows;

- a. Research of anti-tumor mechanism of *saponin* from *Aralia elata* Seem
- b. Research of developing Dihydroquercetin, new medicine for angina
- c. Research of active ingredient and mechanism of *Acanthopanax senticosus* Harms against Parkinson's disease



**The JSPS 3rd Medicinal Chemistry Seminar of
Asia/Africa Science Platform Program
and
The 2nd International Seminar of Meiji
Pharmaceutical University Asia/Africa Center for
Drug Discovery**

First Announcement

**January 13-15, 2009
Meiji Kinenkan, Tokyo, Japan**

**Organized by Meiji Pharmaceutical University AA Center for
Drug Discovery (MPU AACDD)
Supported by Japan Society for the Promotion of Science (JSPS)**



Preface

Meiji Pharmaceutical University established “Asia/Africa Center for Drug Discovery (MPU-AACDD)” to train researchers for the development of new drugs and pharmacists, who can be active internationally in April, 2005. The same year, Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) began to advertise “Asia Africa Science Platform Program” as a new program to establish sustainable cooperation with core research institutions in Asian and African nations. Meiji Pharmaceutical University applied for this public advertisement, and was adopted as one of the core institutions of a new program in March, 2006. Taking this opportunity, MPU-AACDD has begun its full scale activities. MPU-AACDD held three seminars until December last year (The JSPS 1st Medicinal Chemistry Seminar of AA Science Platform Program was co-organized with the 23rd Annual Research Conference on Pharmaceutical Sciences, at Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand, during December 14-15, 2006. The First International Seminar of Meiji Pharmaceutical University Asia/Africa Center for Drug Discovery, was held at Meiji Pharmaceutical University, Tokyo, Japan, during March 8-9. The JSPS 2nd Medicinal Chemistry Seminar of AA Science Platform Program was co-organized with the 1st Seminar on Bioactive Natural Products from Marine Organisms and Endophytic Fungi, at Cape Panwa, Phuket, Thailand, during October 26-27, 2007).

With this background, MPU-AACDD organizes The JSPS 3rd Medicinal Chemistry Seminar of Asia/Africa Science Platform Program and The 2nd International Seminar of Meiji Pharmaceutical University Asia/Africa Center for Drug Discovery.

Kinenkan was the first wedding hall offering a comprehensive range of services to be opened in Japan.

It is located in a separate part of the Outer Gardens of the Meiji Shrine. The total area of the site is about 33,000m². The main hall is a place of historical interest since the drafts of the former Imperial Constitution and the Imperial House Act were discussed in the presence of the Meiji Emperor. The Kinenkan has therefore been a very popular attraction to many people, offering a multitude of uses.

It was after World War II when the Meiji Kinenkan was opened as a wedding hall.



General Information for Guest speakers (oral presentation) and others (poster presentation)

All abstracts should be submitted in English only

Instruction to Prepare Abstracts

Each abstract should be typed in MS-Word and printed on A4 paper (margins of 3.5, 2.5, 2.5, and 2.5 cm from top, bottom, left, and right, respectively) with a laser or letter-quality printer. Text should be single-spaced. The authors can include Figure(s), Chart(s), and /or Table(s) in the text but the total printing pages should be only one page.

Typeface: Times New Roman, Times Roma, or Time in 10 points size, is preferable.

Title: Type the title in all capital and bold letters, centered on the width of the typing area and single-spaced if more than one line is required. The title should be brief, descriptive and have all words spelled out. One and a half spaces, then type the author(s) name(s) (the presenting author should be underlined), single-spaced if more than one line is required. One and a half spaces, then type author(s) address(es), also single-spaced, capitalizing the first letters of main words. Double-space before the text starts.

How does the text come out? The text will be printed as it is by offset. This means that the author(s) should have the responsibility for any typographical and/or grammatical errors in the text.

Dead line: The abstract PDF file should be submitted to the organizing committee by e-mail as attachments (for oral presentation to Dr. Takashi Sugita: sugita@my-pharm.ac.jp and for poster presentation to Dr. Kiyotaka Koyama: kiyotaka@my-pharm.ac.jp) by **November 30, 2008**.

Ps: Panels of approximately **80cm x 120 cm** will be available for poster presentations.

For any inquiries, please contact at:

Secretariat: e-mail address: sugita@my-pharm.ac.jp



Information of Poster Presenters

The Organizing Committee welcomes your poster contribution to JSPS 3rd Medicinal Chemistry Seminar of Asia / Africa Scientific Platform Program to be held at the Fuyo-no Ma (芙蓉の間), the Meiji Kinenkan in Tokyo on 15 January 2009.

We would like to take your contribution to run our schedule smoothly, we should show the following information.

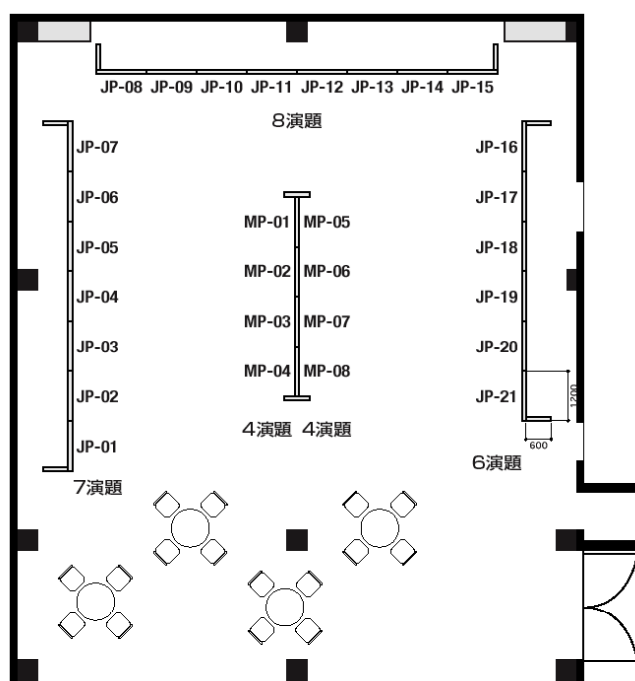
1. Your poster board number can be obtained from the attached file.
2. You are able to give 120 cm (wide) x 180 cm (height), it will be enough space for poster presentation.
3. We will provide pin and/or tape for pitting your poster.
4. Posters will be displayed for the duration on January 15th, and it may be put up from 9:30 am to 4:30 pm on January 15.
5. Depend on your situation in this time, we have arranged two poster sessions for authors.

Presentation and Discussion

10:00-12:00 (From No: M1-6: MPU/AACDD)

14:30-16:30 (From No 1-22: JSPS/AASPP)

6. After finishing your poster presentation, we will invite you to our Banquet starting from 5:30 pm at Aioi-no-Ma (相生の間).





*The Japan Society for the Promotion of Science
(JSPS)*
**3rd Medicinal Chemistry Seminar of Asia/Africa
Scientific Platform Program**

&

**The Second International Seminar of Meiji
Pharmaceutical University
Asia/Africa Center for Drug Discovery**

Program



January 14–15, 2009

Meiji Kinenkan, Tokyo

- OP1-4 Herbal Drugs for Neurological Disorders**
Y. K. Gupta, Ph. D.
Department of Pharmacology, All India Institute of Medical Sciences, India
- 11:30 - 12:00 **Special Lecture** Chair: Tomomi Kawsaki, Ph. D.
SL-1 Synthetic Study and Development of New Antibiotics, Globomycins
Hiroshi Kogen, Ph. D.
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- 12:00-14:00 **Lunch**
- 14:00 - 14:50 **Lecture 3** Chair: B. S. Vishwanath, Ph. D. & Takashi Morita, Ph. D.
OP2-0 Developments of New Anicoagulants and Anti-VEGF
Takashi Morita, Ph. D.
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- OP2-1 Snake Venom VEGFs Exclusively Vary Their Structures and Functions among Species Separately from Endogenous VEGFs of Snakes**
Yasuo Yamazaki, Yukiko Matsunaga, Shinya Obayashi, Mai Saito, Takashi Morita
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- OP2-2 Plant Latex Proteases and Their Involvement in Blood Coagulation and Wound Healing**
H. V. Shivaprasad, R. Rajesh, B. S. Vishwanath
Department of Studies in Biochemistry, University of Mysore, India
- 14:50 - 15:10 **Break**
- 15:10 - 16:00 **Lecture 4** Chair: Euis Holisotan Hakim, Ph. D. & Kiyotaka Koyama, Ph. D.
OP4-0 Medicinal Chemistry on Biologically Active Natural Products from Traditional Condiments and Medicines
Kiyotaka Koyama, Ph. D.
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- OP4-1 Bioactivity of Indonesian Medicinal Plants**
Lia Dewi Juliawaty,¹ Kiyotaka Koyama,² Kaoru Kinoshita,² Kunio Takahashi,² Yana maolana Syah,¹ Didin Mujahidin,¹ Lukman Makmur,¹ Arifin Achmad,¹ Euis Holisotan Hakim¹
¹*Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia*
²*Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan*

- OP4-2 Bioactive Secondary Metabolites from Some Indonesian *Cryptocarya***
Fera Kurniadewi,¹ Yana M. Syah,¹ Lia Dewi Juliawaty,¹ Sjamsul A. Achmad,¹
 Kiyotaka Koyama,² Kaoru Kinoshita,² Kunio Takahashi,² Euis Holisotan Hakim¹
¹*Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia*
²*Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan*
- 16:00-16:10 **Break**
- 16:10 - 16:50 **Lecture 5** Chair: Lia Dewi Juliawaty, Ph. D. & Kaoru Kinoshita, Ph. D.
OP4-3 Chemical and Biological Evaluation of Morus Species
Euis Holisotan Hakim, Didin Mujahidin, Lia Dewi Juliawaty, Lukman Maknur, Yana
 Maolana Syah, Sjamsul Arfin Achmad
Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia
- OP4-4 Pinoresinol as Biomarker for the Screening of Antioxidant Pandans**
 Prudence K. Dy,¹ Mario A. Tan^{1,2}, Maribel G. Nonato^{1,2,3}
¹*College of Science*, ²*Research Center for the Natural Sciences and the* ³*Graduate School,*
University of Santo Tomas, Philippines

Thursday 15th January

Koubai-no-Ma (紅梅の間)

- 9:30 - 10:00 **Special Lecture** Chair: Maribel G. Nonato, Ph. D.
SL-2 A Zymography-Based Assay for Pre-Screening Anti-Matrix Metalloproteinases (MMPs) Agents Using Microbial Systems
Jolleen Natalie I. Balitaan,^{1,2} Maria Cristina R. Ramos,^{1,2,3} Holger Steinbrenner⁴
¹*Graduate School*, ²*Department of Chemistry, College of Science and* ³*Molecular Biology Laboratory,*
Research Center for the Natural Science, Thomas Aquinas Research Complex, University of Santo
Tomas, Philippines
⁴*University of Düsseldorf, Germany*
- 10:00 - 10:30 **Special Lecture** Chair: Dr. Reiko Ikeda, Ph. D.
SL-3 A Decade of Collaboration between National Institute of Health in Thailand and Medical Mycology Research Center, Chiba University
Yuzuru Mikami,¹ Natteewarn Poonwan²
¹*Medical Mycology Research Center (MMRC), Chiba University, Japan*
²*Department of Medical Sciences, National Institute of Health, Thailand*
- 10:30 - 10:45 **Break**

- 10:45 - 11:15 **Lecture 6** Chair: Surender Singh Ph. D. & Takashi Sugita, Ph. D.
OP3-0 **Molecular Epidemiological Investigation of Emerging Infectious Disease, and Development of Novel Diagnosis and Therapeutic Agents**
Takashi Sugita, Ph. D.
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- OP3-1** **Molecular Epidemiological Investigation and Development of Diagnosis Methods for Emerging Fungal Infection**
Nanthawan Makha,¹ Takashi Sugita,² Natteewan Poonwan,¹ Reiko Ikeda²
¹*Department of Medical Sciences, National Institute of Health, Thailand*
²*Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan*
- 11:15 - 11:30 **Break**
- 11:30 - 12:00 **Special Lecture** Chair: Anuchit Plubrukarn, Ph. D.
SL-4 **Bioactive Compounds from Philippine Marine Invertebrates and Associated Microorganisms**
Gisela Pandilla Conception, Ph. D.
Marine Science Institute, University of the Philippines, Philippines
- 12:00 - 12:20 **Lecture 7** Chair: Naoki Saito, Ph. D.
OP-5 **The Thai-Japanese Collaborative Research on Tetrahydroisoquinoline Potent Antitumor Alkaloids from Marine Sources in Thailand**
Khanit Suwanborirux, Ph. D.
Center for Bioactive Natural Products from Marine Organismz and Endophytic Fungi (BNPME), Department of Pharmacognocny, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Thailand
- 12:20 - 12:30 **Closing Remarks**
- 12:30 - 14:30 **Lunch**
- 12:30 - 14:30 **Poster Presentation (Fuyou-no-Ma)**
- 17:30-20:00 **Banquet (Farewell Party)**
- Aioi-no-Ma**

JP-01 Isolation and Structure Elucidation of Renieramycin T: A Novel Renieramycin-Ecteinasidin Hybrid

Yumiko Tada,¹ Naomi Daikuhara,¹ Naoki Saito,¹ Kornvika Charupant,^{2,3} Khanit Suwanborirux²

¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

²Bureau of Drug and Narcotic, Department of Medical Sciences, Ministry of Public Health, Thailand

³Center for Bioactive Natural Products from Marine Organismz and Endophytic Fungi (BNPME), Department of Pharmacognocny, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Thailand

JP-02 Preparation of 2'-N-Acyl Derivertives of Ecteinascidins

Panithi Saktrakulka,^{1,2} Khanit Suwanborirux,^{1,3} Naoki Saito,⁴ Chamnan Patarapanich^{1,2}

¹Center for Bioactive Natural Products from Marine Organismz and Endophytic Fungi (BNPME),

²Department of Chemistry, ³Department of Pharmacognocny, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Thailand

⁴Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

JP-03 Optimal Protocol for DNA Extraction from the Sponge *Xestospongia* sp. Producing Renieramycins

Manatchaya Chuanchuen, Taksina Chuanasa, Khanit Suwanborirux

Center for Bioactive Natural Products from Marine Organismz and Endophytic Fungi (BNPME), Department of Pharmacognocny, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Thailand

JP-04 Synthesis of Simple Isoquinoline Marine Natural Products from Philippine Marine Animals

Chieko Tanaka, Keishi Kanazawa, Yasutaka Higuchi, Masashi Yokoya, Akinori Kubo, Naoki Saito

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

JP-05 Synthetic Study of Isatisine A

Shigeru Kojima, Yukihiro Sato, Kazuhiro Higuchi, Tomomi Kawasaki

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

JP-06 Stereoselective Construction of Adjacent Quaternary Carbon Centers of Chimonanthine

Yuhsuke Kumakura, Sachiko Kurashima, Takayuki Kobari, Tomomi Kawasaki

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

JP-07 The Duvernoy's Gland Transcriptome of Yamakagashi Snake, *Rhabdophis Tigrinus Tigrinus*

Daisuke Fujisawa, Yasuo Yamazaki, Kottangada Chengappa Ponnappa, Pithi Chanvorachote, Takashi Morita

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

- JP-08** **Gene Expression Profiling of Human Neural Progenitor Cells Following the Serum-Induced Astrocyte Differentiation**
Shinya Obayashi, Hiroko Tabunoki, Seung U. Kim, Jun-ichi Satoh
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-09** **Identification of Bombyx Mori 14-3-3 Orthologs and the Interactor Heat Shock Protein 60**
Hiroko Tabunoki, Toru Shimada, Yutaka Banno, Ryoichi Sato, Hideyuki Kajiwara, Kazuei Mita, Jun-ichi Satoh
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-10** **Interaction of Triosephosphate Isomerase on *Staphylococcus Aureus* with Mannooligosaccharides and Bioreactive Proteins**
Hiromi Furuya, Reiko Ikeda
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-11** **Search for Antiangiogenic Agent from *Laurus Nobilis* Root**
Takanori Igarashi, Toshihiko Susuki, Kaoru Kinoshita, Kunio Takahashi, Kiyotaka Koyama
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-12** **Search for Tyrosine Kinase Inhibitors from *Polyozellus Multiplex***
Akira Kaneko, Toshihiko Suzuki, Kaoru Kinoshita, Kunio Takahashi, Kiyotaka Koyama
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-13** **HIF-1 α Inhibitors from Marine Fungi**
Atsuko Suzuki,¹ Ayuko Yamada,¹ Kaoru Kinoshita,¹ Kunio Takahashi,¹ Kiyoshi Egawa,² Kiyoshi Nose,² Kiyotaka Koyama¹
¹*Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan*
²*Showa University of Pharmaceutical Sciences*
- JP-14** **Tyrosine Kinase Inhibitors from *Hypericum Patulum***
Eri Makita, Toshihiko Suzuki, Kaoru Kinoshita, Kunio Takahashi, Kiyotaka Koyama
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
- JP-15** **Flavonoids from the Leaves of Two Species of Indonesian *Artocarpus* and their Cytotoxic Effects**
Eliza Bachtiar, Lia Dewi Juriawaty, Lukman Makmur, Yana M. Syah, Sjamsul A. Achmad, Euis Holisotan Hakim
Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia

- JP-16** **New Pigments from Cultured Mycobionts of Lichen, *Amygdalaria Panaeola*, *Cladonia Bellidiflora* and *Sphaerophorus Flagillis***
Kaoru Kinoshita,¹ Yoshikazu Yamamoto,² Yusuke Usuniwa,² Kiyotaka Koyama,¹ Kunio Takahashi¹
¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
²Faculty of Bioresource Sciences, Akita Prefectural University, Japan
- JP-17** **Cytotoxic Secondary Metabolites from Indonesian *Cryptocarya* (Lauraceae)**
Johnson Siallagan, Euis Holisotan Hakim, Yana M. Syah, Lia Dewi Juliawaty, Sjamsul A. Achmad, Lukman Makmur, Didin Mujahidin
Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia
- JP-18** **Elicitation Effect of *Saccharomyces Cerevisiae* Yeast Extract on Secondary Metabolites Production of *Morus Macroura* MIQ 509 Hairy Root Cultures**
Nizar Happyana, Didin Mujahidin, Lia Dewi Juliawaty, Lukman Makmor, Sjamsul Arifin Achmad, Yana M. Syah, Euis Holisotan Hakim
Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia
- JP-19** **Evaluation of the Anti-Arthritic Potential of *Terminalia Chebula* in Complete Freund's Adjuvant Induced Arthritis in Rats**
Surender Singh
Department of Pharmacology, All India Institute of Medical Sciences, India
- JP-20** **Isolation and Atropisomerism of Biflavonoids**
Hiroaki Sasaki,¹ Kazuhiko Miki,¹ Lia Dewi Juliawaty,² Euis Holisotan Hakim,² Kaoru Kinoshita,¹ Kiyotaka Koyama,¹ Kunio Takahashi¹
¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
²Department of Chemistry, Institut Teknologi Bandung, Indonesia
- JP-21** **Triterpene Saponins from *Pachycereus Hollianus* and *Neobuxbaumia Euphorbioides* (Cactaceae)**
Satoru Ito,¹ Kaoru Kinoshita,¹ Kiyotaka Koyama,¹ Kunio Takahashi,¹ Hiroshi Yuasa²
¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
²Research Institute of Evolutionary Biology, Japan

[Supplement]

**PROGRAM (The 2nd International Seminar of Meiji Pharmaceutical University Asia/Africa
Center for Drug Discovery: AACDD)**

Thursday 15th January

10:00-12:00 Poster Presentation (*Fuyou-no-Ma*)

12:00-14:00 Lunch

14:00-15:20 Oral Presentation (*Koubai-no-Ma*)

Poster Presentation

Fuyou-no-Ma

10:00 – 12:00

MP-01 Inhibitory Effects of the Seeds from *Momordica Charantia* on Proliferation of Adult T-cell Leukemia

Hisahiro Kai,^{1,2} Ena Akamatsu,¹ Eri Torii,¹ Takao Iwata,¹ Itsuki Morinaga,¹ Hiroko Kodama,¹ Horoyuki Morinaga,¹ Ikuo Yamamoto,¹ Miho Sakai,¹ Chizuko Yukizaki,¹ Yoichi Sakakibara,¹ Masahito Suiko,¹ Akihiko Okayama,¹ Hiroaki Kataoka,¹ Koji Matsuo¹

¹Faculty of Hygienic Chemistry, School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University of Health and Welfare, Japan

²Miyazaki Prefecture Industrial Support Foundation, Japan

MP-02 Synthetic Study of Furoindoline Derivatives Based on a Vanadium-Catalyzed Epoxidation of Indoleethanols

Takeshi Futase, Masahiro Noji, Keitaro Ishii

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

MP-03 Diastereoselective Intramolecular Acyl Transfer of Cyclic Carbonate Forming 2-Oxazolidinones

Shigeo Sugiyama, Haruka Fukuchi, Keitaro Ishii

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

MP-04 Highly Applicable Asymmetric Desymmetrization for Serinol Derivatives: A Convenient Synthesis of Optically Active Oxazolidinones

Shigeo Sugiyama, Masayo Yagihashi, Keitaro Ishii

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan

- MP-05 Studies on Active Parts and Active Compounds of Chestnut**
Lin Zhang,^{1,2} Masaki Baba,¹ Lijun Wu,² Toru Okuyama¹
¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji Pharmaceutical University, Japan
²Shenyang Pharmaceutical University, China
- MP-06 Long-Lasting Effects of Prenatal Exposure to NMDA Receptor Antagonist, Phencyclidine on Behavior in Mice**
Lingling Lu,^{1,2} Takayoshi Mamiya,¹ Akihiro Mouri,¹ Ping Lu,^{1,2} Kazuya Toriumi,¹ Masayuki Hiramatsu,¹ Taku Nagai,³ Toshitaka Nabeshima^{1,3}
¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Meiji University, Japan
²Department of Pharmacology, School of Life Science and Pharmaceuticals, Shenyang Pharmaceutical University, China
³Department of Neuropsychopharmacology and Hospital Pharmacy, Nagoya University, Japan
- MP-07 Effect of Atorvastatin of Expression on Genes Related to Inflammation in Cultured Human Peripheral Blood Lymphocytes**
Jun Zou, He Chang, Xuan Zhu, Xin Jin
 Department of Pharmacology, Medical College of Xiamen University, China

Oral Presentation

Koubai-no-Ma

14:00 - 14:20 **Special Lecture**

Koubai-no-Ma (紅梅の間)

Chair: Toru Okuyama, Ph. D.

SL-M-1 International Cooperation and Exchange of Heilongjiang University of Traditional Chinese Medicine

President Kuang Hai Xue, Ph. D.

Heilongjiang University of Chinese Traditional Medicine, China

14:20 - 14:40

Chair: Yoshihito Okada, Ph. D.

OP-M-1 Drug Discovery from Egyptian Medicinal Plants

Abdel Nasser B. Singab, Ph. D.

Faculty of Pharmacy, Ain Shams University, Egypt

14:40 - 15:00 **Break**

15:00 - 15:20

Chair: Takashi Sugita, Ph. D.

OP-M-2 Genotype Distribution Patterns of Candida Albicans Associated with Genital Candidiasis in China

Feng-Yan Bai,¹ Juan Li,² Dong Ming Li³

¹Institute of Microbiology, Chinese Academy of Science, China

²Department of Obstetrics and Gynecology, Peking University Shenzhen Hospital, China

³Department of Dermatology, Peking University Third Hospital, China